

自家採種、自家増殖の原則禁止とする法案に物申す

不自然な種が増える

野菜栽培の農家 節約のため自家採種、増殖

日本豊受自然農は300種類以上の在来種の穀類、野菜、ハーブ、果実を自家採種中心に育てている。さらに味噌から生醤油、ハーブ酵素、野菜ジュース、発酵飲料、麺類、レトルト食品、自然化粧品、環境を汚さない洗剤などを作り、オーガニックレストランも運営するなど6次産業化に取り組んでいる。代表の由井寅子氏は自家採種・自家増殖を原則禁止とする法案に物申すとしている。



由井代表

由井代表は「4月末、国内中が緊急事態宣言で、それどころでない大変な状況になっている。中、女優の柴咲コウさんがTwitterで政府が種苗法改正法案を提出し、農家の自家採種を原則にしようという動きを発信されていた。その記事が目にとまり、よく調べてみるように指示しましたら、これがショックドクトリンというのでし



私達をつぶしかねない法改正という由井代表

ようか、テレビや新聞の報道も新型コロナウイルス問題で一色の中で、この日日本の農業や食の安全を脅かす大変な法改正を進めていることが分かりました。内容をみると、グロ

土壤菌、腸内細菌を殺そうとすることは、信仰心のなさの現れではないか
私たちは土壤菌に、腸内細菌に生かされていた



豊受自然農は自家採種



からし菜の種取り

種とり名人もいる豊受自然農



餅つきは楽しい



野菜売り場賑わう

「ハルな種子メジャー」などの意向に沿う法改正の一環で、日本の農業における自家採種を一律禁止する方向にもっていく重要なステップとなる法改正であることが分かりました。農家は違反すると1千万円、私達のような農業法人は違反すると3億円以下の罰金、10年以下の懲役が科せられます。共謀罪の対象にもなるとする法案に物申す」と語る。

由井代表が提言

そこで由井代表は、「農民の権利である育てた作物に実ったタネを自家採種・自家増殖を原則禁止とする法案に物申す」と

に抵触しているかどうかは農林水産省の担当官が判断することになります。

海外の農家の悲劇

蜂などが受粉すると登録品種の交雑が起こり権利侵害だとクローバル種子メジャーに訴えられた海外の農家の悲劇なども報じられています。登録品種は1割しかないと言いますが、実際の栽培量では作物別に異なり、かなりの栽培シェアをもっている作物もあります。そして、種苗法改正などでも見込み、政府も知財立国を掲げる中、登録品種が急激に増えていま

デマを流す人も

今や自家採種・自家増殖をしている農家なんてほとんどないというデマを流す人もいますが、平成27年度の農林水産省の調査では、野菜を栽培している農家の74.5%が自家採種・自家増殖をしています。野菜の種子の9割はF1種だし、9割は海外からの輸入だから自家採種を禁止しても大丈夫という人もいますが、主要農作物種子法が廃止されましたが、こ

れまで行政が種子の安定供給の責任をもっていて、並行して農家も自家採種してきた米、麦、大豆などの主要な穀類の多くが在来種で登録品種も多くあります。今回の種苗法改正を考えると、農業競争力強化法にも注

意が必要で、既に成立しているこの法律では日本がこれまで代わり開発してきた種苗の知見・権利を、外資を含む民間に払い下げなさいという部分もあります。もし、主要穀類の種苗の権利を民間企業、それも世界の種苗市場の7割のシェアをもつ外資、クローバル種子メジャーに握られた場合、日本の農業や食の安全は果たして保証されるのでしょうか。この問題は、南米やインドなどで多くの農民に悲劇を起こしてきた事実も他人事だけでなく日本も学ばべきかとも思っています。

皆で訴えていこう

それよりも気にしなればならないのは、既に遺伝子組み換え作物プラウドアップの作物を食べさせたラットでは巨大腫瘍を作っていたことを皆さんはもう知っていますよね。そのようなGMOやゲノム編集、F1など不自然な種で育った穀類・野菜を食べるようになるという危機感を感じて欲しいと願っています。是非、自然な種を守り、安心安全な食の必要性を皆で訴えていこうではありませんか。

(8面のつづき)
次に新型コロナウイルスとヒタミンドの関係について。
ヒタミンドは深く免疫に関係し、抗ウイルス効果などの素晴らしい薬理効果がある。コロナウイルス患者の重症度には例外的にヒタミンド含有量が多いという興味深い内容が紹介された。

参加者から驚きの声
由井大会長の相談会で骨の難病、側弯症がヒタミンドを作る副甲状腺のサポートや食養生によって短期間で劇的に改善したケースが紹介された。参加者から驚きの声が続々と上がった。その他にもウクチン問題、マイクログリップ、5G問題などについても問題提起をし、最後に新型コロナウイルスがなぜ世界中で広がったのか、ヒタミンドと太陽と信仰心について、そして様々な問題の裏側にある陰謀、世界の裏情を知ったが上で彼ら自分とすることができるといって、非常に深く一人一人が考えさせられる結論で最後を締めくくった。

米丸氏、種とり紹介

最後に、「北海道洞爺湖農場の自家採種(タネとりの実践)」をテーマに日本豊受自然農・洞爺農場の米丸輝久さんが発表。自家採種で様々な種とりのしている様子を映像で紹介した。自家採種でその土地にあった作物の栽培が重要な点を熱く語った。大事な内容を伝える2日間となり、DVD化などの要望も相次いだため、7月4日、5日、24日、25日にも再放送、スマホアプリとYouTubeでも公開予定。

6月25日10時講座

これらの諸問題については「コロナを越えてタネを越えて、この時代を生きていくための講義」で由井大会長が講演する。初回は、6月25日10時、再放送も28日10時から「これから起こる自然地震、食糧危機、人工地震」